

### ③ 3rd Step 添い寝

(正面、通常距離)

あっ、あのさ……。

その……。

ちよつと疲れちゃったから……。

一緒に、ゴロンってしない？

うん……。ちようど。

二人ともベッドの上にいるし……。

それに……。

キミ、最近寝不足だって言ってたでしょ？

だから、少しでも休めたらいいなって……。

ふえ!?

やっ、優しいって……。

(右側 至近距離 ささやき)

それは……キミが私に、優しく接してくれるからだよ？

(右側 通常距離)

いつも素直になれなくて……。

周りを傷つけちゃう……。

そんな私を……キミは、いつも受け入れてくれる……。

だから……。その恩返しをしたいの……。

だめ……。かな？

へへっ！ やった！

♪衣擦れ

あっ……、これが……キミのいつも使ってる布団……。

くんくん……。

……。

キミの匂いがする……。

へへっ……。

じゃ、じゃあ……。

その……。おいで？

♪衣擦れ

（右側 至近距離 ささやき）

あっ……一緒に布団に、入っちゃった……。

どっ、ドキドキする……。

やっ、やだ……。

心臓の音……。聞かないで……？

はっ、恥ずかしいよ……。

（右側 至近距離 小声）

こっ、こんなの……。

ドキドキすぎて、キスどころじゃないよ……。

でっ……でも……私……。

この人と……キス……したいよ……！

♪衣擦れ

(右側 至近距離 ささやき)

あっ、あのさ……。

その……、手。繋いでも……いい？

うん、下校の時みたいなの……恋人繋ぎ……したい……。

♪衣擦れ

【驚く】

ひゃあ！

あっ……ごっ、ごめんね？

ちっ、違うの！

嫌なわけじゃなくって……。

その……ちよっと、驚いただけ……。

あっ、でも……。今も、手汗すごいかも……。

はっ、恥ずかしい……。

え？ 気にしないで、いてくれるの？

……キミ。やっぱり、優しいね？

(左側 至近距離 ささやき)

……いつも、ありがとう……。

うん？ 私の手。ちっちゃくて、可愛い？

え？

そっ……そう、かな？

あんまり、意識したことなかったから……。

しっ、仕方ないじゃん……。

キミ以外の男の人と、手。

繋いだことないんだもん……。

……。

でも……。こうやって繋いできると、キミの手。

おっきい……。

血管もくっつき浮き出てるし……。

やっぱり。男の人なんだなって、わかる……。

♪衣擦れ

(右側 至近距離 ささやき)

うん？ 何？

どうしたの？

えっ!?

ぎゅって、抱きしめて欲しいの？

【恥ずかしがりながら】

そっ……そんなこと……。

できるわけ……。

(右側 至近距離 小声)

うん？

キミって……。こんなに小さかったっけ？

ううん、違う……。

これはきつと……。

(左側 至近距離 ささやき)

ねえ? ……寂しいの?

そっか……。

わかった……。

うん、いいよ?

だって私。彼女だもん……。

キミが寂しがってる時は。

ずっとそばにいて、支えてあげたいの……。

【あせりながら】

あっ……まっ、待って!

そっ……その……。

私。はっ、はじめてだから……。

えっと……。

優しく……してくれると、嬉しい……な?

うん、いいよ?

おいで?

♪衣擦れ

(右側 至近距離 ささやき)

【驚く】

あうっ……。

うっ、うん……。

大丈夫だよ?

思ってたよりずっと。優しく抱きしめてくれたから……。

ありがとね？  
へへっ！

【伸ばし気味で】  
ぎゅー。

はあ……すごいこれ……。なんか、あったかくて……。  
落ち着く……。

【伸ばし気味で】  
（左側 至近距離 ささやき）  
ぎゅー。

なんだか……キミと、一つになってるみたい……。  
不思議……。

えっ？ もっと、強く抱きしめて欲しい？  
わっ、わかった……。  
力加減、わからないから……。  
苦しかったら、すぐに教えてね？  
いつ、いくよ？

【伸ばし気味で】  
（右側 至近距離 ささやき）  
ぎゅー。

どっ、どう？  
苦しくない？

え？ ちょうどいい？

へへっ……、よかった！

私も、これ……結構好きかも……。

(左側 至近距離 ささやき)

ぎゅー。

はあ……。

ぎゅってするの、私……。クセになりそう……。

うん？ だって……。

なんか、キミに『守るよ！』って

言われてるみたいで、すごく安心するの……。

え？ キミも？

そうなんだ……。

おんなじように、感じてくれてたんだ……。

へへっ……。

うん……。もっと、ぎゅーってして？

キミを、もっと安心させたい……。

【伸ばし気味で】

(右側 至近距離 ささやき)

ぎゅー。

うん？ よしよし、して欲しいの？

……いいよ？

よしよし……。

いつも、助けてくれて。ありがとね？

テスト勉強の時も……。自分も大変なのに、私に教えてくれてありがと  
う……。

あの時。本当に助かったんだよ？

無理させて、ごめんね？

よし……よし。

大丈夫……大丈夫だよ？

私は、ずっと……そばにいるよ？

へへっ……。

(右側 至近距離 ささやき)  
ぎゅー！

何だか、今。すごい恋人みたい……。

うん、嬉しい……。

私。ずっとこういう関係に、憧れてたから……。

……ねえ？

♪衣擦れ

(左側 至近距離 ささやき)  
好き……。

【動揺しながら】

えっ!?

私、今……その……。

……うん。

やっぱり。こういうのは、  
きちんと伝えなきゃね？

(右側 至近距離 ささやき)

私……。キミが好き……。

うん。好き！

優しいところも……。

不器用なところも……。

たまに、甘えてくれるところも……。

(左側 至近距離 ささやき)

全部、大好きだよ？

へへっ……。

やっと言えた……。

実は、ずっと伝えたかったんだ……。

キミが好きって……。

でも、なかなか言い出せなくて……。

こんなに遅くなっちゃって、ごめんね？

ひょっとして……不安にさせちゃってたかな？

え？ 不安になんてなってない？

それに……。

私がキミのこと大好きなのは、ずっと伝わってた!?

【驚く】

えっ、ええっ!?

そっ、それならそうと、早く言ってよ!

一人で悩んでた私がバカみたい……。

(右側 至近距離 ささやき)

え?

でも。そうやって言葉にして、伝えてくれるほうが嬉しい?

……うん。

わかった……。

これからは……できるだけ、好きって伝えるようにする……。

さっ、流石に外だと。まだ難しいけど……。

二人っきりの時なら、言える気がする。

そっ、それはそうじゃない……。

外でイチャイチャするのって……なんか恥ずかしいし……。

ううっ……。キミが良くても、私は嫌なの……。

でも、キミがして欲しいなら……。

外でもこんな風に、イチャイチャしてもいいかな……。

なーんて……。

だから、それができるようになるまで、待っててくれると嬉しい……。

本当? やった!

(左側 至近距離 ささやき)  
え？

好きが足りない？

えー、さっき、いっぱい言ってあげたのに……。  
キミってば……。欲しがりさんだね？

いいよ？ いっぱい言ってあげる……。

(右側 至近距離 ささやき)

好き……。

好……き……。

大好き……。

やつ、やっぱ……恥ずかしいよ……。  
ううっ……わかった……がんばる……。

(左側 至近距離 ささやき)

好き……。

うん……大好き……。

好き……。

はっ、はい！  
もうおしまい！

これ以上は……心臓がもたないよ……。

ううっ……。何笑ってるのー？

(左側 至近距離 ささやき)  
うん？ どうしたの？

……眠たくなってきたの？  
そっか……。

そうだよね？

疲れが溜まってたからね……。

いいよ？

背中、トントンってしてあげる。

(右側 至近距離 ささやき)  
トントン……トントン……。  
よしよし……。

(左側 至近距離 ささやき)  
トントン……トントン。  
いい子……いい子……。

いつも頑張ってたえらいね……。  
お疲れ様……。

ゆっくり、休んでいいんだよ？

(右側 至近距離 ささやき)  
トントン……トントン。

(←ここからウトウトしながら、ゆっくりめに)

【あくび】

ふぁーあ……。

やばい……。

私も、眠くなってきちゃった……。

まだ、キス……できてないのに……。

せっかく……。好きって言えたのに……。

キミが……。こんなに近くに……。

もっと……。私の気持ち……。知って欲しい……。

キミを好きだって、もっと伝えたいのに……。

キス……。キス……。したいのに……。

もう……。ねむ……。

【←ここより 寝息。ゆっくり、吐息多めに】

(正面、至近距離 ささやき)

すう……。すう……。すう……。すう……。

すう……。すう……。すう……。すう……。

すう……。すう……。すう……。すう……。

すう……。すう……。すう……。すう……。

